

東京経済大学 国際シンポジウム

日本出版学会 国際出版研究フォーラム

出版のデジタル化とグローバル化

日 程： 2024 年 11 月 9 日（土）

会 場： 東京経済大学 大倉喜八郎 進一層館（東京都国分寺市南町 1-7-34）

テ ー マ： 出版のデジタル化とグローバル化：新たな出版学のために

セッション： 1. 表現／編集制作 2. 流通／配信、技術 3. 思想、歴史、文学 4. 法・制度

使用言語： 中国語・韓国語・日本語（中国語、韓国語、日本語による同時通訳付）

アクセス： JR 中央線、西武国分寺線・多摩湖線 「国分寺駅」南口より徒歩 12 分

参加費： 無 料

主 催： 東京経済大学 （共催：日本出版学会）

【プログラム】

9:30 受付開始

〈開会式〉 10:00～10:05
日本出版学会 会長あいさつ 清水一彦

〈第1セッション：表現／編集制作〉 10:10～11:10

① デジタル時代カリキュラム出版の発展における五問

梁 威（中南出版メディアグループ 副総経理）〔中国〕

② AI 時代の出版編集の未来

金希柱（リライティングラボ 代表）〔韓国〕

③ デジタルアーカイブ時代のエディトリアルとは：

人文学オープンデータ共同利用センター（CODH）と

ジャパンナレッジの共同プロジェクトを手がかりに

鈴木親彦・山崎隆広（群馬県立女子大学）〔日本〕

〈第2セッション：流通／配信、技術〉 11:20～12:20

① AI 時代の出版プロセス再構築と技術応用

張立科（中国工信出版メディアグループ 副総経理）〔中国〕

② 人工知能（AI）の時代「出版流通市場」の変化と展望

李完洙（東西大学校メディアコンテンツ学科教授）〔韓国〕

③ 出版学における木版口絵研究のためのデジタルアーカイブデザイン

常木佳奈（久留米工業高等専門学校准教授）〔日本〕

〈休 憩〉 12:20～13:40

〈第3セッション：思想、歴史、文学〉 13:40～14:40

① 中国ネット文学の海外進出——その歴史・現状と発展戦略

陳 丹（北京印刷学院 副校長）〔中国〕

② 韓国文学の過去・現在・未来

：AI 時代の新しい出版文献分野の方向性

朴騰救（韓国出版研究院理事長）〔韓国〕

③ 角筆から考える出版との関わり

近藤友子（ノートルダム清心女子大学准教授）〔日本〕

〈第4セッション：法・制度〉 14:50～15:50

① 融合出版の実践と考察

徐雁龍（中国科技出版メディアグループ副総裁）〔中国〕

② 出版コンテンツ法・制度の診断と争点

：AI 時代の出版コンテンツ保護のための戦略

文智恵（仁川大学社会科学院研究員）〔韓国〕

③ 「読書バリアフリー法」施行後の成果と課題

——出版界の取組みを中心に

野口武悟（専修大学文学部教授）〔日本〕

〈総括討論〉 16:00～17:00

〈記念写真撮影・閉会式〉 17:00～17:30

〈閉 会〉 17:30

●参加申込方法

お名前、ご所属、ご連絡先（TEL または e-mail）をご記入のうえ、Google フォーム（<https://forms.gle/9FzUmfSzwcrjG6iT7>）または e-mail（info@shuppan.jp）、FAX（03-3313-7348）でお申込みください。

●お申込み・お問い合わせ先

日本出版学会事務局

〒166-0015 東京都杉並区成田東 4-35-23

TEL：03-3313-7347 FAX：03-3313-7348

e-mail：info@shuppan.jp

*学内駐車場の関係で、お車でのご来場はご遠慮ください。

*開催当日、学内食堂は営業していません。

各自、コンビニ等で購入しご持参いただくか、

国分寺駅周辺の飲食店をご利用ください。

（会場には昼食用の空き教室を準備いたします）

